

演劇・映画の専門図書館

公益
財団法人

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 238(2018年1月) ■

平成 30 年 1 月 10 日発行

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

旧年中は当館の活動にひとかたならぬご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨秋実行致しました第6弾のクラウドファンディングでは、平成29年度の図書館事業費の一部と共に、【映画スクラップ】約1,800冊を保存するための専用のアーカイバル容器(保存箱)の制作のための資金を募集しました。そして50日間の募集期間で220名の支援者の皆様から、温かい励ましと共に260万5千円のご支援を頂き、プロジェクトが無事成立致しました。アーカイバル容器は昨年中に納品され、今後「組み立て式棚はめ込み箱」の書架への設置と約1,560冊の【映画スクラップ】を収める作業、そして劣化が激しい戦前から昭和27年までの233冊の【映画スクラップ】を「タトウ式保存箱」へ保存する作業を進めてまいります。また、クラウドファンディング第5弾のご支援でデジタル化を行った「組上燈籠絵」のアーカイブも昨年10月にはWeb公開する事が出来ました。そして、第3弾のご支援でデジタル化を行った「芝居番付」のアーカイブも全件の目録化を終え、昨年10月に2,343件のデータが追加され、江戸時代から戦前まで(1944年以前)の5,593件の芝居番付が、すべて一般公開となりました。これもひとえに、皆様のお力添えのおかげと、深く感謝しております。

昭和33年7月1日に開館した当館は、本年7月に開館60周年を迎えます。皆様の思いと支えを拠り所として、ますます充実した演劇と映画の専門図書館を目指し、これからもスタッフ一同努力してまいります。本年も当館の活動にご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

松竹大谷図書館 職員一同

≫≫ お知らせ

第46回平成29年度「大谷竹次郎賞」は選考の結果、
該当作品なしと決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

<「大谷竹次郎賞」とは>

本賞は、毎年1月より12月までの公演で、松竹系のみならず、歌舞伎俳優によって上演された新作の歌舞伎及び歌舞伎舞踊の脚本を対象とし、娯楽性に富んだ優れた歌舞伎脚本に贈る賞です。昭和47年2月14日から始まり、今年で45回目を迎えました。毎年、大谷竹次郎(松竹株式会社創業者のひとり)の誕生日、12月13日にあわせて発表しており、該当作がない場合、佳作や奨励賞(新人対象)を贈る場合もあります。当館からは副賞として受賞者に松竹大谷図書館賞の記念レリーフ(荒川明照氏作)を贈呈しています。

この10年の受賞作は、齋藤雅文氏『竜馬がゆく 立志篇』(第36回平成19年度)、今井豊茂氏『新作 陰陽師 滝夜叉姫』(第42回平成25年度)、川崎哲男氏・松岡亮氏『壽三升景清』(第43回平成26年度)、今井豊茂氏『あらしのよるに』・横内謙介氏『スーパー歌舞伎II ワンピース』(第44回平成27年度)です。これらの受賞作の台本は当館に保存されており、一般公開しておりますので、どなたでもご覧いただくことが出来ます。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 12月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『源平布引滝 実盛物語』	○			
	『新古演劇十種の内 土蜘蛛』	○			
	『らくだ』	○			
	『倭仮名在原系図 蘭平物狂』	○		○	○
	『臉の母』	○			
	『楊貴妃』	○			
新橋演舞場	『通し狂言 忠臣蔵 花の巻・雪の巻』			○	
	『シアターコンサート《昼・夜別構成》』				
松竹座 (大阪)	関西ジャニーズJr.「X'mas SHOW 2017」				
ロームシアター京都	『寿曾我対面』	○			
	『義経千本桜 渡海屋・大物浦』	○			
	『二人宛久』				
	『良弁杉由来 二月堂』	○		○	○
	『俄獅子』				
	『人情噺文七元結』	○			
	『大江山酒呑童子』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

浅草九劇	11月	『グレーのこと』プログラム
アトリエファンファーレ	12月	『ひび割れた部屋で』プログラム
あうるすぽっと	12月	『浪漫歌舞伎劇 黒蜥蜴』プログラム
梅田芸術劇場	11月	『スカーレット・ピンパーネル』プログラム
大阪新歌舞伎座	12月	『歌手生活45周年記念 天童よしみ特別公演』プログラム
神奈川芸術劇場大スタジオ	12月	『KAAT竹本駒之助公演第九弾』プログラム
劇場MOMO	12月	『名医先生』プログラム
国立劇場小劇場	11月	『管絃 青海波を聴く』プログラム
		『舞の会 京阪の座敷舞』プログラム
国立劇場大劇場	12月	『今様三番三・隅田春妓女容性』プログラム
国立文楽劇場	11月	『文楽公演』プログラム、床本
こまばアゴラ劇場	12月	『男女逆転版・痴人の愛』プログラム
ザ・スズナリ	12月	『ちゅらと修羅』プログラム
座・高円寺1	11月	『江戸のマハラジャ』プログラム
シアタークリエ	11月	『DADDY LONG LEGS 足ながおじさんより』プログラム
シアター1010	11月	『誰か席に着いて』プログラム
シアター風姿花伝	12月	『ビューティ・クイーン・オブ・リナーン』プログラム
自由劇場 (四季)	12月	『王様の耳はロバの耳』プログラム
SPACE雑遊	12月	『荒れ野』プログラム
草月ホール	12月	『斜交 昭和40年のクロスロード』プログラム
帝国劇場	11月	『朝陽の中で微笑んで』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	12月	『熱狂』『あの記憶の記録』プログラム
中野テアトルBONBON	12月	『不思議の国でノックアウト』プログラム
俳優座劇場	11月	『バグバスターズ2』『バグバスターズ3』プログラム
		『泪橋ディンドンバンド2 傷だらけの夕陽』プログラム
博品館劇場	11月	『キャッシュ オン デリバリー』プログラム
		『太陽のかわりに音楽を。』プログラム
三鷹市芸術文化センター星のホール	11月	『相談者たち』プログラム
三越劇場 (日本橋)	12月	『「仕事クラブ」の女優たち』プログラム、台本

(新着資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|--|-------------------------|
| 『Confetti』2018年 JANUARY | 『国立演芸場公演ガイド』平成30年1月号 |
| 『TICKETS GO!GO!』Vol.74 | 『大向う』平成30年1月号 |
| 『あぜくら』2017年12月号 | 『伝統文化新聞』2017年(139号) |
| 『つどい』48号 | 『日本演劇興行協会会報』2017年(53号) |
| 『ほうおう』2018年2月号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成30年1月号 |
| 『シアターガイド』2018年2月号 | 『日本劇場技術者連盟誌』No.5, No.6 |
| 『テアトロ』2017年12月号臨時増刊号俳優・タレント養成ガイド2018年度版、2018年1月号 | 『日本照明家協会誌』2017年12月号 |
| 『ラ・アルプ』2018年1月号 | 『日本舞踊』70巻1月号 |
| 『演劇界』2018年2月号 | 『悲劇喜劇』2018年1月号 |
| 『芸劇BUZZ』2018年1月-2月-3月号 | 『邦楽の友』平成30年1月号 |
| | 『名古屋芸能文化』平成29年(27号) |

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|--|-----------------------------|
| 『FLIX』2018年2月号 | 『シナリオ』2018年2月号 |
| 『NFCカレンダー』2018年1月号 | 『シナリオ教室』2018年1月号 |
| 『SCREEN』2018年2月号,付録「2017年公開外国映画 YEAR BOOK」 | 『ドラマ』2018年1月号 |
| 『TVガイド』2017年12/15号,2017年12/16-2018年1/15号,2017年12/29-2018年1/12号 | 『ピクトアップ』2018年2月号 |
| 『おとなのデジタルTVナビ』2018年2月号 | 『ムービー・スター』2018年2月号 |
| 『エキブ・ド・シネマ』2017年No.218 | 『映画テレビ技術』2017年12月号,2018年1月号 |
| 『キネマ旬報』2018年1月上旬新年特別号,2018年1月下旬号 | 『映画時報』2017年12月号 |
| 『ザ・テレビジョン』2017年12/15号,2017年12/22-12/29-2018年1/5合併号 | 『映画秘宝』2018年2月号 |
| | 『衛星劇場プログラムガイド』2018年1月号 |
| | 『月刊ドロキ・ユキコ』37号 |
| | 『黒澤明研究会誌』2017年38号 |
| | 『日経エンタテインメント!』2018年1月号 |

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『8年越しの花嫁 奇跡の実話』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- | | | |
|------------------------------|------------------------|-------------------|
| 『リベンジgirl』 | 『ゴンドラ』 | 『女神の見えざる手』 |
| 『ラストレシピ 麒麟の舌の記憶』 | 『ゲット・アウト』 | 『マイティ・ソー バトルロイヤル』 |
| 『ノクターナル・アニマルズ』 | 『猿の惑星：聖戦記 (グレート・ウォー)』 | |
| 『アトミック・ブロンド』 | 『ミックス。』 | 『恋と嘘』 |
| 『弱虫ペダル Re:GENERATION』 | 『バリー・シール アメリカをはめた男』 | |
| 『泥棒役者』 | 『ローガン・ラッキー』 | 『ジグソウ：ソウ・レガシー』 |
| 『ザ・サークル』 | 『不都合な真実2：放置された地球』 | |
| 『DESTINY 鎌倉ものがたり』 | 『火花』 | 『オリエン特急殺人事件』 |
| 『劇場版総集編アニメ「刀剣乱舞 花丸」幕間回想録』 | | 『GODZILLA 怪獣惑星』 |
| 『ナオト・インティライミ冒険記 旅歌ダイアリー2 前編』 | 『BRAVE STORM ブレイブストーム』 | |

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書 籍 ■

『OMS戯曲賞vol. 3』	扇町ミュージアムスクエア
『OMS戯曲賞vol. 23』	大阪ガスビジネスクリエイティブ内OMS戯曲賞事務局
『映画公社旧蔵戦時統制下映画資料集 第5巻 大日本映画協会資料1 脚本講習会』	東京国立近代美術館フィルムセンター (監修、佐崎順昭 (解題) ゆまに書房
『映画公社旧蔵戦時統制下映画資料集 第6巻 大日本映画協会資料2 映画法』	東京国立近代美術館フィルムセンター (監修、佐崎順昭 (解題) ゆまに書房
『映画公社旧蔵戦時統制下映画資料集 第7巻 外地関係1』	東京国立近代美術館フィルムセンター (監修、佐崎順昭 (解題) ゆまに書房
『映画公社旧蔵戦時統制下映画資料集 第8巻 外地関係2』	東京国立近代美術館フィルムセンター (監修、佐崎順昭 (解題) ゆまに書房
『映画公社旧蔵戦時統制下映画資料集 第9巻 映画製作関係 (劇映画・文化映画)』	東京国立近代美術館フィルムセンター (監修、佐崎順昭 (解題) ゆまに書房
『トム・D・コクレンとアジア ユニバーサル映画のアジア展開』	笹川慶子 (著) [関西大学]
『寅さん語録 寅さんが教えてくれる今を生きるための50のメッセージ』	ぴあ
『TSUKIJI WONDERLAND』	遠藤尚太郎 (編) 山と溪谷社
『原点 THE ORIGIN 戦争を描く、人間を描く』	安彦良和+斉藤光政 (著) 岩波書店
『権力と孤独 演出家蜷川幸雄の時代』	長谷部浩 (著) 岩波書店
『東京国際舞台芸術フェスティバル'97報告書』	東京国際舞台フェスティバル実行委員会
『東京国際舞台芸術フェスティバル'99報告書』	東京国際舞台フェスティバル'99実行委員会
『2000年とやま世界こども演劇祭』	2000年とやま世界こども演劇祭実行委員会
『とやま世界こども舞台芸術祭2012記録誌』	とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2017年10月~11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、独立行政法人国際交流基金、一般社団法人日本映画製作者連盟、帝国劇場、オペラシアターこんにゃく座、シアタークリエ、博多座、株式会社日本舞踊社、関西・歌舞伎を愛する会、日本映画テレビ技術協会、シナリオ・センター、加藤健一事務所、キネマ旬報社、無声映画鑑賞会、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、(株)CLIE、一般社団法人日本民間放送連盟、花組芝居、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、シーエイティプロデュース、国立劇場、明治学院大学、劇団四季、演劇出版社、四季株式会社、東宝株式会社、デアゴスティーニ・ジャパン、国立音楽大学附属図書館、若林さだ吉、成瀬芳一、有限会社合同通信社、ロングランプランニング株式会社、人形劇団プーク、明治座、K A A T 神奈川芸術劇場、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、公益社団法人日本照明家協会、(株)近代映画社、フィルムセンター、河東節十寸見會、新歌舞伎座、糸あやつり人形一糸座、劇団東演、梅村三郎、調布市武者小路実篤記念館、芸術座創立百年委員会、日本大学芸術学部演劇学科、銀座百店会、中央区郷土天文館 (タイムドーム明石)、劇団銅鑼、劇団民藝、国文学研究資料館、御園座、劇団1980、邦楽の友社、産経新聞出版、おもだか会、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、名取事務所、前進座、劇団青年座、銀座 博品館劇場、下野公久、PHP研究所、劇団ワンツーワークス、公益財団法人ユニジャパン東京国際映画祭事務局、こまつ座、新鷹会、深澤宏、株式会社ワタナベエンターテイメント、日本劇団協議会、岡部企画、日本近代文学館、日本映画撮影監督協会、三越劇場、渡辺佳子、株式会社アサツー・ディー・ケイ、安孫子正、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、映画論叢、株式会社オフィスタカヤ、佐々政司、N O D A ・ M A P、沖縄県平和祈念資料館、歌舞伎学会、鷹取洋二、鈴木三栄株式会社史料室、ファーンウッド

どうもありがとうございました

第 68 回所蔵資料展示 「高麗屋三代同時襲名披露」展

2018年1月11日～2月21日／於 閲覧室

本年1月2日より歌舞伎座で、「壽初春大歌舞伎 高麗屋三代同時襲名披露興行」が幕を開けました。昭和56年10月の歌舞伎界で初となる直系の親子孫三代（初代松本白鸚、九代目松本幸四郎、七代目市川染五郎）の襲名以来、37年ぶりに松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎、松本金太郎改め八代目市川染五郎へと、それぞれ父が名乗っていた名前を受け継ぎます。歌舞伎はもちろん、ミュージカルや現代劇、そして映画、テレビなどジャンルを超えて幅広く活躍し続けている高麗屋三代の魅力に、所蔵資料から迫ります。数多く著書が出版されている二代目松本白鸚と十代目松本幸四郎。もちろん、当館にもたくさんの蔵書があります。残念ながら展示スペースの都合で展示できませんでしたが、その中から『幸四郎的奇跡のはなし』（2011年 東京新聞）と『市川染五郎 人生いろいろ染模様』（2015年 世界文化社）の2冊をご紹介します。この2冊には二代目白鸚が染五郎時代に主演した大河ドラマ『黄金の日々』の興味深いエピソードが載っています。『黄金の日々』の第1話のテレビ放送日はちょうど、息子・十代目幸四郎の5歳の誕生日でした。そのプレゼントとして親子で一緒にテレビで第1話の放送を観ることとなり、見終わった後、“お芝居の人になりたい”と母親に告げたことで彼の役者人生が始まったそうです。このエピソードを、親の目から見た話（『幸四郎的奇跡のはなし』）と子供の目から見た話（『市川染五郎 人生いろいろ染模様』）、それぞれのエッセーが楽しめます。



左 『市川染五郎 人生いろいろ染模様』
右 『幸四郎的奇跡のはなし』



左 『初代松本白鸚 九代目松本幸四郎 七代目市川染五郎襲名披露』、右 『二代目松本白鸚 十代目松本幸四郎 八代目市川染五郎襲名披露』

当館閲覧室奥にある展示ケースを臨むと、三代襲名口上の2枚の大きなカラー写真（複製）が真っ先に目に入るかと思えます。上は37年前の襲名時のもの、下は今回の三代襲名の写真です。『初代松本白鸚 九代目松本幸四郎 七代目市川染五郎襲名披露』、『二代目松本白鸚 十代目松本幸四郎 八代目市川染五郎襲名披露』にそれぞれ掲載されているので、カウンターで請求していただければ、お手に取って読むことができます。ぜひあわせてお楽しみください。

【二代目松本白鸚】昭和17年8月19日、初代松本白鸚の長男として生まれました。昭和21年5月、東京劇場上演の『助六由縁江戸桜』の外郎売伴役で二代目松本金太郎を名乗り初舞台を踏みます。昭和24年9月東京劇場『勸進帳』の太刀持ほかで、六代目市川染五郎を襲名。昭和35年には、弟の二代目中村吉右衛門と「木の芽会」を立ち上げ研鑽を重ねました。昭和34年17歳の時には、当時史上最年少で『ハムレット』に主演。高麗屋一門が一時東宝へ移籍していた時期も含め、『蒼き狼』（テムジン）や『心を繋ぐ6ペンス』（アーサー・キップス）、『屋根の上のヴァイオリン弾き』（モーテル）、『アマデウス』（アントニオ・サリエリ）といったバラエティーに富んだ舞台や、大河ドラマ『黄金の日々』（呂宋助左衛門）など映像のメディアで活躍。なかでも、昭和44年から主演し続けているミュージカル『ラ・マンチャの男』（セルバンテス／ドン・キホーテ）は、本場ブロードウェイでの日本人初主演という快挙を遂げ、現在まで通算1200回以上の上演を重ねているほか、『王様と私』（シャム王）もイギリス・ウエストエンドでの主演を果たしています。昭和56年10月歌舞伎座において九代目松本幸四郎を襲名。祖父・七代目松本幸四郎や父から『仮名手本忠臣蔵』（大星由良之助）や『積恋雪関扉』（関兵衛）、『菅原伝授手習鑑』（松王丸）、『元禄忠臣蔵 大石最後の日』（大石内蔵助）などの持ち役を受け継ぎます。特に、昭和33年より演じてきた『勸進帳』（武蔵坊弁慶）は、全国47都道府県での公演を実現、公演数は計1100回を超えました。この他にも『天衣紛上野初花 河内山』（河内山宗俊）、『盲長屋梅加賀鷲』（按摩竹垣道玄）、『魚屋宗五郎』（魚屋宗五郎）など評価が高いです。また、現代の日本の作家と組んで現代劇を上演する演劇集団「シアターナイン」や、演劇としての歌舞伎を追求する歌舞伎企画集団「梨苑座」を旗揚げしたほか、演出家としても精力的に活動しています。

【十代目松本幸四郎】昭和48年1月8日、二代目松本白鸚の長男として生まれました。昭和54年3月歌舞伎座『侠客春雨傘』で三代目松本金太郎を名乗り初舞台。昭和56年10月、歌舞伎座『仮名手本忠臣蔵 七段目』大星力弥ほかで七代目市川染五郎を襲名。昭和62年、14歳の若さで『ハムレット』に主演し、父の持つ最年少記録を更新、曾祖父七代目幸四郎より四代にわたってシェイクスピア劇に主演を果たします。

平成3年には、イギリスで開催された「JAPAN FESTIVAL」に招聘され、歌舞伎版ハムレット『葉武列土倭錦絵』でハムレットとオフィーリアの二役を演じました。『陰陽師 滝夜叉姫』（安倍晴明）や、『東慶寺花だより』（作者／中村信次郎）、『女殺油地獄』（河内屋与兵衛）、『仮名手本忠臣蔵 五段目』（早野勘平）、『江戸みやげ 狐狸狸ばなし』（雇人又市）、『竜馬がゆく』（坂本竜馬）など様々な役柄を勤めます。劇団☆新感線とタッグを組んで『阿修羅城の瞳』（病葉出門）や『アテルイ』（阿弋流為）、『朧の森に棲む鬼』（ライ）、三谷幸喜とタッグを組んで『決闘！ 高田馬場』（中山安兵衛／中津川祐範）など、次々と話題作を生み出しました。平成14年の初演より13年の時を経て、『アテルイ』は『歌舞伎NEXT 阿弋流為 アテルイ』として生まれ変わり、劇場公演のみならずシネマ歌舞伎としても上映されました。平成22年から続けている、渋谷の英雄、金丸丸の伝説をモチーフにした体験型カブキ音楽劇の『渋谷金丸丸伝説』や、歌舞伎の入門書も執筆するなど、より多くの人に歌舞伎に親んでもらえるための啓蒙活動にも努めています。平成27年には、ラスベガスで、プロジェクトマッピングを駆使した公演『Koi-Tsukami [鯉つかみ]』を行ったほか、平成29年にはフィギュアスケートと歌舞伎とをコラボレートした『氷艶 破沙羅』など次々と挑戦を続けています。

【八代目市川染五郎】平成17年3月27日、十代目松本幸四郎の長男として生まれました。平成19年6月歌舞伎座『侠客春雨傘』の高麗屋齋吉役で、藤間齋の名前で初お目見得。平成21年6月歌舞伎座『門出祝 寿連獅子』童後に孫獅子の精で四代目松本金太郎を名乗り初舞台。『二条城の清正』（豊臣秀頼）、『春興鏡獅子』（胡蝶の精）、『紅葉狩』（山神）などを好演。得意の歌舞伎絵を活かし、雑誌の連載も持つなど、今から多彩な魅力を発揮しています。

【展示資料一覧】

《展示ケース外》

上:『初代松本白鸚 九代目松本幸四郎 七代目市川染五郎 襲名披露』より●図書/1981年 歌舞伎座 ※複製

下:『二代目松本白鸚 十代目松本幸四郎 八代目市川染五郎 襲名披露』より●図書/2017年 松竹 演劇部 ※複製

《展示ケース上段》●スチール写真

『極付幡随長兵衛』昭和55年6月 国立大劇場/幡随長兵衛(6代目市川染五郎=2代目松本白鸚)、伴長松(3代目松本金太郎=10代目松本幸四郎)

『定本 元禄忠臣蔵 大石最後の一白』昭和56年4月 歌舞伎座/大石内蔵助(6代目市川染五郎=2代目松本白鸚)、おみの(3代目中村梅枝=5代目中村時蔵)

『仮名手本忠臣蔵 七段目』昭和56年10月 歌舞伎座/大星由良之助(初代松本白鸚)、大星力弥(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)

『勸進帳』昭和58年2月 新橋演舞場/武蔵坊弁慶(9代目松本幸四郎=2代目松本白鸚)

『仮名手本忠臣蔵 五段目・六段目』平成3年8月 国立小劇場/早野勘平(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)、女房お軽(2代目市川新車=11代目市川高麗蔵)

『竜馬がゆく 最後の一白』平成21年9月 歌舞伎座/坂本竜馬(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)、中岡慎太郎(4代目尾上松緑)

『門出祝 寿連獅子』平成21年6月 歌舞伎座/左近後に親獅子の精(9代目松本幸四郎=2代目松本白鸚)、右近後に仔獅子の精(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)、童後に孫獅子の精(4代目松本金太郎=8代目市川染五郎)

『二条城の清正』昭和61年9月 歌舞伎座/加藤肥後守清正(9代目松本幸四郎=2代目松本白鸚)、豊臣秀頼(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)

『二條城の清正』昭和30年9月 歌舞伎座/加藤肥後守清正(8代目松本幸四郎=初代松本白鸚)、豊臣秀頼(6代目市川染五郎=2代目松本白鸚)、大政所(6代目中村歌右衛門)、徳川家康(3代目市川猿之助=2代目市川猿翁)、本多佐渡守(8代目市川團蔵)

『二条城の清正』平成28年1月 歌舞伎座/加藤肥後守清正(9代目松本幸四郎=2代目松本白鸚)、豊臣秀頼(4代目松本金太郎=8代目市川染五郎)、大政所(2代目中村魁春)、徳川家康(4代目市川左團次)

『歌舞伎NEXT 阿弋流為 アテルイ』平成27年7月 新橋演舞場/阿弋流為(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)

《展示ケース下段》

『黄金の日日』●スチール写真/昭和54年3月 歌舞伎座/助左衛門(6代目市川染五郎=2代目松本白鸚)、美緒(5代目坂東玉三郎)

『週刊TVガイド』●雑誌/昭和53年2月10日号799号 東京ニュース通信社

『遙かなる走路』●スチール写真 ●プログラム/1980年松竹+日本シネセル+アビプロ/監督:佐藤純彌/原作:木本正次/脚本:新藤兼人/共演:米倉斉加年、田村高廣、司葉子、3代目松本金太郎=10代目松本幸四郎

『The KING and I』(邦題『王様と私』)●プログラム/1991年2-3月 ウェストエンド・サドラーズウェルズ劇場ほか(イギリス公演)/シャム王(9代目松本幸四郎=2代目松本白鸚)、アンナ・レオノーウェンズ(スーザン・ハンブシャー)

『ラ・マンチャの男』●スチール写真/昭和44年4月 帝国劇場/ドン・キホーテ(6代目市川染五郎=2代目松本白鸚)、サンチョ・パンサ(小鹿敦)

『ラ・マンチャの男』●台本/平成9年8月 名鉄ホール・平成9年9月 青山劇場

『葉武列土倭錦絵』●スチール写真/平成9年9月 サンシャイン劇場/宝刈屋姫(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)

『葉武列土倭錦絵』●プログラム/1991年9-10月 マーメイドシアターほか(イギリス・アイルランド公演) * JAPAN FESTIVAL 招聘作品

『夢の仲蔵千本桜』●スチール写真/平成17年10月 日生劇場/中村仲蔵(9代目松本幸四郎=2代目松本白鸚)、中村此蔵(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)

『アマデウス』●スチール写真/平成16年5月 ル テアトル銀座/アントニオ・サリエーリ(9代目松本幸四郎=2代目松本白鸚)、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)

『獅子王 SHI-SHI-O The Adventures of the Mythical Lion』●プログラム/2016年5月MGMグランドデヴィッド・カッパーフィールド劇場(アメリカ公演)/朱雀君実は鶴の化身+荒獅子高麗之助照薫+唐獅子山三実は獅子王の臣+虹屋金魚太夫+獅子王の精(7代目市川染五郎=10代目松本幸四郎)

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2017（平成29）年12月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館の思い出～「資料請求票」～

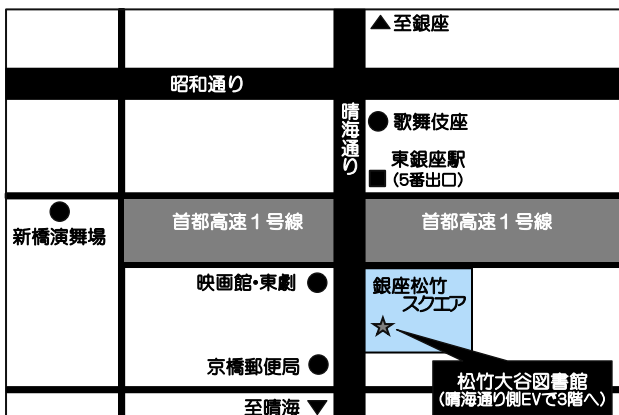
本年7月、開館60周年を迎える当館。この長い年月の間にハード面やソフト面において、様々なりニューアルを図ってきました。資料閲覧の際に、来館者の方々に書いていただく「資料請求票」も、より使いやすいよう、節目節目で作り直されました。

写真の左は、昔使用していた古い請求票で、右が現在使用している請求票です。この古い請求票は、資料に挟まっていたものが昨年偶然見つかりました。昭和50年代中頃に使用されていたようです。茶色く変色した紙が、古さを物語っていますね。「入館時」「退館時」を



記す項目があるなど、現在の請求票にはない項目もあり、また、左側には「読書のご相談は読書案内係へお出下さい。」という一文もあります。現在のレファレンスサービスともいえますね。当時のスタッフは、いったいどんな読書の相談を来館者の方から受けていたのでしょうか。

▼ **■ 編集後記**
 平成30年は、11日より開館いたします。皆様のご来館をお待ちしております。スタッフ一同、本年も松竹大谷図書館をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



● **交通案内**
 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

● **入館料** 無料
 ● **閲覧** 館内閲覧のみ
 ● **Webサイト** に掲示します。

● **利用案内**
 ● **開館時間** 平日午前10時～午後5時
 ● **休館日** 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
 ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

